

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスさかいで			
○保護者評価実施期間	令和7年4月1日		～	令和7年5月23日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24名	(回答者数)	24名
○従業者評価実施期間	令和7年4月1日		～	令和7年4月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年5月28日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	指導訓練室や多目的室など活動スペースが非常に広く、十分な活動環境を有効活用できています。	体を動かす活動を積極的に取り入れ、体力向上やストレス発散につなげています。 自主学習やクールダウン等、ご利用者の希望や特性に合わせて個室スペースを利用できるようにしています。	広い活動スペースをさらに有効活用するため、バリエーション豊かな活動を導入し、ご利用者の興味や発達段階に応じた支援の幅を広げていきます。 活動範囲が広いため、エリアごとの見守り体制の強化に努めます。
2	活動をご利用者自身で選べる「選択活動」を取り入れていています。工作・運動・音楽・ゲーム等、数多くの選択肢を用意しており、興味に応じて選べる活動が楽しめる快適な環境を整えています。	自己選択しやすいように、写真や絵カードなどを活用して、活動内容を視覚的にホワイトボードに示しています。 帰宅前に次回の活動希望を尋ねる時間を設け、楽しみと見通しを持って次の利用につなげるようにしています。自分でやりたい活動を選び成功体験を積むことで、自己決定力の習得を促しています。	日々の活動の中でご利用者の興味や得意なことを把握し、定期的に新しい活動内容を導入し、選ぶ楽しさを持続させながら、活動プログラムが固定化しないように工夫します。
3	当法人は障害児者福祉や高齢者福祉と幅広いサービスを展開しています。当事業所建物内には生活介護事業も実施しており、ライフステージを見据えた一貫した支援も可能です。また幅広い多様な福祉サービスを展開していることで、多くの相談支援事業所や学校等関係機関と密に連携しています。	生活介護の専門性（身体介護・重度支援対応など）を放課後デイに活かしています。 生活介護、就労継続支援B型、グループホーム等、系列事業所の職員と情報共有・連携を図り、希望に応じて情報提供や見学対応等、卒業後の進路選択におけるサポート体制も万全です。	当法人主催の研修へ積極的に参加し、専門的支援等の習得に努めます。 将来の生活や進路を見据えた目標を個別の支援計画に設定し、系列事業所と連携しながら成長過程に応じた支援を提供します。希望に応じて法人内施設への移行等支援を迅速に進めます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修会や情報提供の機会等が設けられていません。	日々の支援業務が優先となり、保護者向けのプログラムを企画・実施する時間や体制が確保しにくい現状があります。また、家族支援プログラムに対する知識や経験が少ないことが課題として挙げられます。	送迎・面談等を通じて、個別にご家庭での不安や困りごとに対して相談援助を継続して実施します。 外部機関の協力を得ながら、必要に応じて家族向け支援の情報提供を行っていきます。
2	父母の会の活動支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流機会、きょうだい向けイベントの開催等きょうだい同士の交流機会が設けられていません。	現在、保護者との連携や意見交換については、日々の送迎時の対話や面談、連絡帳等で個別に対応できています。保護者の時間的な負担も大きく、現在のところ「父母の会」として集まる必要性は低いと感じています。	今後も気兼ねなくご相談いただける場になるように努め、個別に子どもの発達やご家庭での困り事等のご相談に応じます。きょうだい向けイベント等については、外部機関での開催案内等を情報提供していきます。
3	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難・救出その他必要な訓練に全利用者が参加できていません。	各災害毎の避難訓練を計画的に実施していますが、訓練日が利用日でないご利用者は実際に避難訓練を体験できていない状況です。	今後は、避難訓練の内容によっては、複数日に分けて実施することを検討します。実際に訓練に参加できなかったご利用者に対しては、職員と一緒に避難経路の確認をする等の体験ができるように活動メニューに加えます。 ご家族にも避難訓練の様子を連絡帳・おたより等で発信し、ご家庭でも防災意識を高められるよう連携します。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日					令和7年5月29日	
放課後等デイサービスさかいで		利用児童数					24名	回収数 24枚
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	24				・広いスペースで楽しく活動させていただき、ありがとうございます。 ・活動スペースが広いので、のびのびと活動できていると思います。 ・活動している様子(見学时)をみてそう思いました。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	21	2		1	・1回しか見ていないので… ・利用者に対して職員の数はいくつから ないし障害の度合いに応じて規定より変動があってもよいのかな??	配置基準を充分満たしています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	24				・本人がトラブルなく利用できているので大丈夫だと思います。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	22	1		1	・利用日はとても楽しく過ごせています ・デイ利用時の様子は見たことがないため一部しか分かりません。 ・むやみにハサミや危険なものをおいてなかったと思うし、洗面台もきれいだった(見学时に思いました)	清掃と各箇所の消毒を毎日行っています。内容に応じて活動空間を使い分けています。また、通所を楽しみにしてもらえよう、四季に応じた壁面制作を取り入れます。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	23	1			・その都度、連絡交換しているので大丈夫だと思います。	外部・内部研修を通じて、専門的な知識習得に努めます。ケース検討を通じて、個々の特性に合わせた対応力を高めます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	24					
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	24					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	23			1		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	24					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	23			1	・様々な活動の場を用意してくださり、子どもも喜んでます。	行事や外出活動を通じて、年間サイクルや季節変化を感じていただけるような企画を実施しています。また、長期休暇中は社会学習を実施予定です。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	11	4	1	8		放課後児童クラブ等の交流については計画していませんが、地域のこどもたちと交流が図れるよう、近隣公園等を利用します。
保護 者へ	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	23			1		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	23			1		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	7		6	・ペアレント・トレーニング等の研修会などあれば、参加してみたいです。 ・時間に都合があれば、参加したいと思っています。	研修会等ご家族への情報提供を継続します。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	24					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21	2		1		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	24				・いつも子どもの気持ちに寄り添ってく ださり、ありがとうございます。	

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	9	2	5	・はい、情報や案内お知らせを通して目にはしてませんが、実際に交流に参加していないので分からない。	父母の会を設ける予定は今のところありません。外部イベント等の情報提供は継続します。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20	1		3	・質問や分からない点など相談できていたので良いと思います。	利用契約時に苦情・ご要望受付について説明をしています。ご意見があればすぐに対応します。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23			1	・連絡ノートを通して分かります。子の口からはむずかしいと思うので	ご利用児童には視覚支援ツール等で情報伝達しています。保護者への情報伝達は連絡ノートやLINEを活用しています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	20	1		3	・していると思います。	毎月「法人の会報誌」と事業所の「おたより」にて発信しています。自己評価結果はホームページより発信しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	23	1			・実感がわかないが、外にもれたなど耳に入らないので大丈夫と思います。	個人情報保護法に沿って今後も十分注意して取扱います。
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	21	2		1	・申し込みの時や契約の時に説明がありました。必要に応じてその都度。	各マニュアルについての情報提供を検討しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16	3		5	・実際まだ、利用中に参加していないのでよく分かりません。	消防総合訓練、地震想定避難訓練、高潮洪水想定避難訓練を継続して実施します。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	21	2		1	・ケアプランや迎えの時に話を聞いてきています。	安全計画を配布して、取組内容について周知します。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18	2		4	・申し込みの時や、不明な時は聞いています。	事故発生防止・対応マニュアルに沿って、保護者に速やかな連絡・状況説明を継続します。
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	24				・今の所、持って行く物なども自分で淡々と支度しており、初回の一ヶ月は不安(友達と気が合うかな。話せるかな。したい事があるかな。)があったと思いますが、迎え時の表情は安心しきっている感じになっています。	安心できる環境を継続して提供できるよう、支援体制や環境づくりを維持・強化します。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	24				・とても楽しみにしています。 ・いつも楽しんで利用させていただいています。	楽しく利用していただきながら、自己肯定感の向上、社会性の育成につながるよう支援を継続していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	23	1			・いつも行くのを楽しみにしており、子どものことを考えていただき、ありがとうございます。 ・子どもの居場所になっていることがとてもありがたいです。	全てのご家庭により満足していただける事業所を目指し、細やかなコミュニケーションや支援内容の更なる充実に努めます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービスさかいで	公表日		令和7年5月29日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		指導訓練室や多目的室など活動スペースが広く、アクティブな活動を取り入れる等、環境を有効に利用していただいています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		配置基準を充分満たしています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6			階段をより目立たせることで危険回避度を高めます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		清掃及び、感染症予防対策のため各箇所の消毒を毎日行っています。	子どもたちが通所を楽しみにしてもらえよう、四季に応じた壁面制作を取り入れます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		自主学習やクールダウン等、使用目的に合わせて自由に利用できるようにしています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		適時全職員で情報共有を行っています。その都度改善に努めています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		保護者の意向等について、全職員で共有し、適期に業務等改善に努めています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		ミーティングでの意見交換を設け、適期に業務等改善改善に努めています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1	現在の所、外部評価の実施または予定はありません。ご家族・見学者等に評価していただくアンケートを実施しています。	今後も外部の皆様へのアンケートを継続し、様々なご意見を事業に活かしていきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		年間計画に基づき、外部研修及び部内研修等への全職員参加を推進しています。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		令和7年1月支援プログラムを作成し、ホームページにおいて公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		ご本人やご家族へのアセスメントはもとより、相談支援専門員や学校の先生方とも情報交換を行い、適時計画を作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		ケース検討会議を開催し、支援に関わる職員にて話し合い、放課後等デイサービス計画を作成しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		計画を共有し、一貫した支援ができる体制をとっています。日々の支援内容を記録し、評価・改善に活かしています。	支援内容に変更が生じる場合はその都度情報共有し、統一した支援を行います。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		一定のシートを使用しています。日々の行動観察や家族からの情報を踏まえた内容を反映しています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		本人支援（5領域）、家族支援、移行支援、地域支援・地域連携を踏まえながら、目標・支援内容を設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		ご本人、ご家族の希望を最優先し、個別支援を軸としてチームで立案しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6			普段のプログラムについてはご本人の希望に固定傾向があるため、活動内容やツールを随時更新し、選択肢を広げていきます。

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		ご本人、ご家族の希望を最優先し、個別支援を軸としてチームで立案しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		全スタッフで事前ミーティングを行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		情報共有すべき連絡事項等、即時LINEや電話等にて常に全職員が情報共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		正確に記録を行い、児童発達支援管理責任者が確認し、支援の検証や改善につなげています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		定期的に実施しています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6		ガイドラインをもとにした活動と支援を実施しています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		ご本人が自身の意志で活動内容を選択できるように工夫しています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		児童発達支援管理責任者が必ず参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		協力医療機関と連携しています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		特に学校への送迎時、ご本人について担当教諭等と情報共有しています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	3	担当相談支援専門員から詳しくまとめられた情報をいただいています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6		担当相談員を通じた情報提供を実施しています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	4		現在までに必要性はありませんでした。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	5	放課後児童クラブや児童館との交流はありませんでしたが、公園等の公共施設利用時に地域のこどもと交流することはあります。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6		児童発達支援管理責任者が参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		ご利用日の送迎時の情報交換や連絡ノートを通して、日々共通理解を深めています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1	ご家族への情報提供等は適時実施しています。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		利用契約時、利用契約書・重要事項説明書、その他支援プログラム等の必要事項について、丁寧に説明しています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		ご本人やご家族のニーズ、今後の方向性を把握するために、アセスメントに時間をかけるとともに穏やかに実施しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		計画内容の説明を行い、同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		随時ご相談に対応し、助言・支援を実施しています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		6		父母の会はありません。令和6年度はきょうだい同士で交流する機会は設けておりません。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			令和6年度も苦情の連絡はありませんでした。ご意見があればすぐに対応します。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		毎月「法人の会報誌」と事業所の「おたより」を発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		十分留意した上で、取扱っています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		ご利用児童には視覚支援ツールで情報を伝えています。保護者とは連絡ノートやLINEにて情報共有しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2	地域の自主防災組織と連携しています。令和6年度は花植え企画を合同開催しました。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		職員への各マニュアル等周知、及び一部訓練を実施しています。	ご家族への各マニュアル情報の提供について、今後検討します。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		BCPを策定し、諸災害毎の避難訓練を実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		利用契約時に、既往歴・服薬情報などを確認しています。てんかん発作については、対応方法を保護者に確認し、職員間で情報共有しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6			対象利用者が利用される際には、適切に対応します。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		安全計画に基づく点検を実施し、設備・玩具等に不備が生じた場合は速やかに改善し、安全に努めています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		安全計画は棟内に掲示し、閲覧可能な状態にしています。	ご家族に安全計画を配布して、取組内容について周知します。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		「ヒヤリハット事故報告書」を軽微な事案でも作成し、その都度全職員で検討・対応しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		事業所において部内研修を実施し、また、外部研修参加も推進し、適切に対応しています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6			これまでに該当するケースはありません。適切に対応します。